

「義のために迫害されている者」(要旨)

聖書箇所：マタイ 5:10-12

【1】天の御国を目指す者たちへ

「心の貧しい者」から始まった幸いシリーズがいよいよ最後(8番目)を迎えます。今朝の「義のために迫害されている者」が「幸い」である理由、「天の御国はその人たちのものだからです」(5:1,10)は、なんと最初(1番目)の理由と同じです。

山上の説教は、この世で「幸い」に生きるための「ちょっといい話」ではありません。「天の御国」を目指して生きる者の「幸い」を教えているのです。特別な時だけでなく、生活のあらゆる事柄に先駆けて「まず神の国…を求めなさい」(6:33)とされています。

▷「天の御国」を思う時、人からの評価に一喜一憂する生き方から開放されます。逆説的ですが、「天の御国」を目指す生き方は、地上の歩みにおける「幸い」につながるのです。

【2】義のために生きる者の幸い

「義のために」の「義」とは何でしょうか。5章10-12節で「義のために」と「わたし(イエス)のために」が相互的に書かれています。

別の聖書の箇所でも「義のため」と「キリストを主とすること」を切り離していません。

「たとえ義のために苦しむことがあっても、あなたがたは幸いです。人々の脅かしを恐れたり、おびえたりしてはいけません。むしろ、心の中でキリストを主とし、聖なる方としなさい。あなたがたのうちにある希望について説明を求める人には、だれにでも、いつでも弁明できる用意をしていなさい。」(1ペテロ3:14-15)

▷「義のために迫害されている者」は、自分

が正しいと考える義を貫く者ではなく、「神の義」(6:33)を求めて生きる者。キリストに対する信仰を告白して生きる者です。そうした者の「幸い」が語られています。

【3】迫害がどうして「幸い」なのか

私たちは、義のために生きる者は高く評価されるべきだと考えます。そう考える者にとって迫害は大敵です。自分が間違っているから迫害されたのではないか、そんな思いに陥ります。キリストを主とし、聖書の教えに従うことよりも、周りの人々の顔色を伺い、この世の評価を気にしながら右往左往する。そんなことはないでしょうか？主イエスは、ご自分の弟子に迫害されても驚かないようにと覚悟を促しました。

「世があなたがたを憎むなら、あなたがたよりも先にわたしを憎んだことを知っておきなさい…人々がわたしを迫害したのであれば、あなたがたも迫害します。」(ヨハネ15:18, 20)

イエスは「義のために迫害されている者」に「天の御国」を見上げるよう励まします。「喜びなさい。大いに喜びなさい。天においてあなたがたの報いは大きいのですから」(12)と。

▷家庭、職場、そして学校で、自分一人がクリスチャンで孤軍奮闘しているように思えるかもしれません。天を見上げましょう！天の父は、何にも優って、あなたを守り、導き、そして公正に評価してくださるお方です。

